

学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2025年	
受賞タイトル	最優秀賞	
区 分	Ⅱ．生活ディスプレイデザイン	
フリガナ	カワサキ ミホ	
制作者名	河崎充紘	
フリガナ	トウキョウデンキダイガク・ミライカガク・ケンチュウガク	
卒業時の大学 学部・学科	東京電機大学・未来科学部・建築学科	
フリガナ	ヒノ マサシ	職名
推薦者名	日野雅司	准教授
フリガナ	コウジョウヨウガツ ミソノデントウヨアーカイブスルアタラシイコウジョウケンチュウノアリカタ	
作品名	工場を穿つ 一味噌の伝統をアーカイブする新しい工場建築の在り方ー	
概 要	私の地元である長野県諏訪市における味噌の産業を製造工程を明らかにしながら工場を開いていくことで保存し、未来へ紡いでいく提案である。昭和30年ごろ日本最大の味噌生産地として有名になったこの地域の工場の数は4, 5と減少している。これは慢性的な需要の停滞や担い手の減少などによる味噌離れが原因であると考えられ、これらを補うために工場や蔵は機械化や効率を求めるうえで閉鎖的になり、味噌の伝統が埋もれていくブラックボックスが町に増加している。諏訪地域の味噌の伝統とは「人と味噌のふれあい」、「味噌を介した人々の交流」であると考え、これらの埋もれていく伝統を守り、未来へつないでいく必要があるのではないだろうか。スーパーや売り場でなんとなく味噌を選ぶ消費者と、味噌を作り続ける生産者の関係をこの提案により少しずつ変えていき、町にとって閉鎖的な側面を持つ工場が開かれていくことで人と味噌がより密接にかわりあい、諏訪地域における味噌の伝統を守り、残していく新しい工場建築の在り方を提案する。	

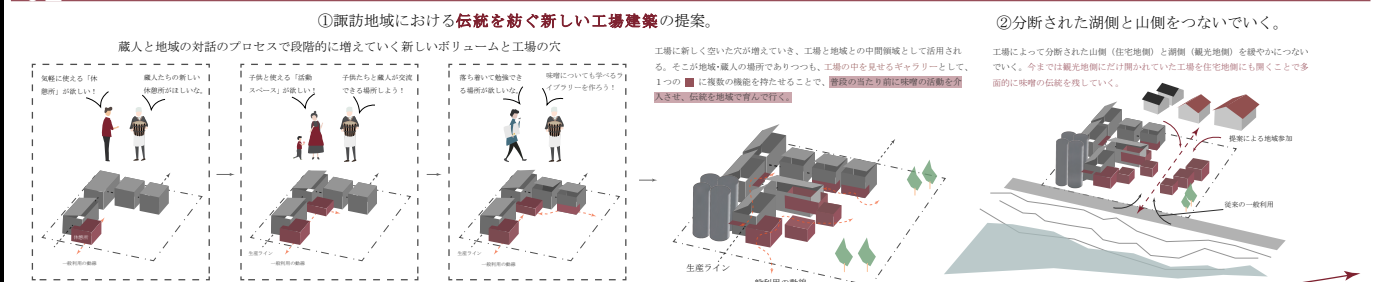
制作者名	河崎充紘
作品名	工場を穿つ 味噌の伝統をアーカイブする新しい工場建築の在り方ー

【コンセプト解説】

01 対象敷地 長野県諏訪市 T味噌工場



02 提案 伝統を紡ぐ為に地域と工場が共存する。



03 T味噌発酵の過程 介入の余地の発見

